

# 日商簿記3級検定試験

100%合格目標

無料講座

## 第7回 仕訳問題演習

公認会計士・税理士・AFP

依田宣夫

### 仕訳問題演習

#### 「仕訳問題演習」

この問題は、主として**第1問対策**の仕訳の問題です。

(注)

ここでは、すべての練習問題を掲載できませんので、以下のURLへアクセスを、お願い致します。

<http://www.geocities.jp/kateikessan/bokikenntei/bokikenntei.html>

次回の日商簿記3級検定試験日

第136回 日商簿記3級検定試験

平成26年2月23日(日)

受験者数・合格率

	第135回	第134回	第133回
受験者数	119,736名	110,190名	109,473名
実受験者数	93,781名	85,585名	84,846名
合格者数	45,054名	29,025名	33,513名
合格率	48.0%	33.9%	39.5%

<a href="#">仕訳問題演習</a>	
<a href="#">仕訳問題演習 (1)、(2)、(3)、(4)</a>	<a href="#">仕訳問題演習解答</a>
<a href="#">良く出る仕訳問題</a>	(1), (2), (3)
(参考)	<a href="#">仕訳の問題形式</a>

# 1、仕訳問題演習

---

## 第1回

解答時間：13分

問1、青木商店へ商品350,000円を売り上げ、代金の内5,000円は手付金と相殺し、  
300,000円については、かねて当店が山田商店を受取人、田中商店を名宛人とし  
て振り出した為替手形を裏書譲渡され 残額については掛けとした。なお、青木商店  
負担の発送費6,000円については、現金で立替払をした。

問2、 売買目的で所有している1株につき50円で取得した株式1000株のうち300株を、1株60円で売却し、代金は、小切手で受け取った。

問3、備品を購入し、代金210,000円のうち60,000円は小切手を振り出して支払い、残金は3回の均等払いにより毎月末に支払いとした。

問4、商品230,000円を仕入れ、代金のうち20,000円については、現金で支払い、  
残額については、売掛金のある得意先を名宛人とする為替手形を振り出して支払った。手形の振り出しに当たっては、得意先の引受けを得ている。

問5、今月分の給料総額300,000円のうち、所得税の源泉徴収分20,000円を差し引き、  
手取金280,000円を従業員の口座に当座預金口座から支払った。

## 第2回

解答時間：13分

問1、出張中の従業員が帰店し、旅費交通費の精算を行い、現金で残額5,000円の返済を受けた。なお、従業員の出張にあたり、旅費の概算額30,000円を  
現金で渡した。

問2、 商品100,000円を仕入れ、代金のうち50,000円は約束手形（当店を受取

人

とする手形)の裏書譲渡による支払いをし、残額については掛けとした。  
。なお、

引取運賃1,000円については、現金で支払った。

問3、得意先が倒産し、売掛金50,000円の貸し倒れが生じた。なお、貸倒引当金の

残高は20,000円である。

問4、期首に、備品(取得価額300,000円、耐用年数5年、残存価額:取得価額の10%、

償却方法:定額法、記帳方法:間接法)を150,000円で売却した。

代金は、翌月に決済されることになった。なお、備品の経過年数は、2年である

。

問5、得意先から、送金小切手380,000円が送られてきたが、その内容は不明である。

### 第3回

解答時間:13分

問1、買掛金350,000円の決済のため小切手を振出して支払った。なお、当座預金残高は、100,000円であったが、取引銀行と当座借越契約(借越限度額500,000円)を結んでいる。

問2、商品50,000円を売り上げ、代金として当店発行の商品券30,000円分を

引き取り、差額は現金で受け取った。

問3、店舗兼住居用の建物の火災保険料200,000円と店主の所得税87,000円を現金で支払った。ただし、火災保険料のうち30%分は、店主個人住居部分に対してである。

問4、出張中の従業員から80,000円が当座預金に振り込まれた旨の通知が取引銀行からあったが、その内容は不明のため仮勘定で処理をしていたが、振り込まれた内容は、売掛金の回収額60,000円と新しい注文の手付金20,000円であることが分かった。

問5、得意先から売掛代金として回収した手形200,000円を、  
銀行で割り引き、手取り金198,000円を当座預金とした。

第4回

解答時間：13分

問1、営業用建物を購入し、代金5,000,000円は、今月末に支払うこととした。なお、  
印紙税および仲介手数料の代金100,000円のうち30,000円は現金  
で支払い、

残金は、小切手を振り出して支払った。

問2、得意先から、送金小切手380,000円が送られてきたが、その内容は  
不明のため仮受金の処理をしていたが、本日その内訳が売掛金の回収が  
300,000円、残金は、注文を受けた商品200,000円の内金であるこ  
とが  
判明した。

問3、仕入先やまだ商店にかねて注文していた商品250,000円が届いた。  
代金のうち以前支払った手付金20,000円を差し引いた残金については、  
100,000円は売掛金のある得意先を名宛人とする為替手形を振り出して支払い  
(手形の振り出しに当たっては、得意先の引受けを得ている)、残額については  
約束手形を振り出して支払った。

問4、車両(取得価額300,000円、耐用年数6年、残存価額：取得価額の10%、  
償却方法：定額法、記帳方法：間接法)を、6月30日に150,000円で売  
却した。

代金は、翌月に決済されることになった。なお、車両の経過年数は、2年である

減価償却については、月割り計算による。また、会計期間は、1月1日から12  
月31日である。

問5、売買目的で1株につき100円で1000株を買い入れ、代金は  
売買手数料2,000円とともに小切手で支払った。

なお、当座預金の残高は50,000円あるが、借越限度額300,000円の  
当座借越契約を結んでいる。



## 2 仕訳問題解答

### 第1回

解答時間：13分

問1、青木商店へ商品350,000円を売り上げ、代金の内5,000円は手付金と相殺し

、

300,000円については、かねて当店が山田商店を受取人、田中商店を名宛人

とし

て振り出した為替手形を裏書譲渡され 残額については掛けとした。なお、青木商店

店

負担の発送費6,000円については、現金で立替払をした。

左側（借方）	右側（貸方）
前受金 5,000円	売上 5,000円

左側（借方）	右側（貸方）
受取手形 300,000円	売上 300,000円

田中商店を名宛人として振り出した為替手形・・・支払い当事者は田中商店

左側（借方）	右側（貸方）
売掛金 45,000円	売上 45,000円

左側（借方）	右側（貸方）
立替金 6,000円	現金 6,000円

(解答)

借方	貸方
前受金 5,000円	売上 350,000円 現金 6,000円
受取手形 300,000円	
売掛金 45,000円	
立替金 6,000円	

問2、 売買目的で所有している1株につき50円で取得した株式1000株のうち300株を、1株60円で売却し、代金は、小切手で受け取った。

左側（借方）	右側（貸方）
当座預金 15,000 円	売買目的有価証券 15,000円

左側（借方）	右側（貸方）
当座預金 3,000 円	有価証券売却益 3,000円

（ 解 答 ）

借 方	貸 方
当座預金 18,000円	売買目的有価証券 15,000円 有価証券売却益 3,000円

問3、備品を購入し、代金210,000円のうち60,000円は小切手を振り出して支払い、残金は3回の均等払いにより毎月末に支払いとした。

左側（借方）	右側（貸方）
備 品 60,000 円	当座預金 60,000円

左側（借方）	右側（貸方）
備 品 150,000 円	未払金 150,000円

（ 解 答 ）

借 方	貸 方
備 品 210,000 0円	当座預金 60,000円 未払金 150,000円

問4、商品230,000円を仕入れ、代金のうち20,000円については、現金で支

払い、

残額については、売掛金のある得意先を名宛人とする為替手形を振り出して支払った。手形の振り出しに当たっては、得意先の引受けを得ている。

左側（借方）	右側（貸方）
仕 入 20,000 0円	現 金 20,000円

左側（借方）	右側（貸方）
仕 入 210,0 00円	売掛金 210,000円

（解 答）

借 方	貸 方
仕 入 230, 000円	現 金 20,000円 売掛金 210,000円

問5、今月分の給料総額300,000円のうち、所得税の源泉徴収分20,000円を差し引き、

手取金280,000円を従業員の口座に当座預金口座から支払った。

左側（借方）	右側（貸方）
給 料 20,0 00円	所得税預り金 20,000円

左側（借方）	右側（貸方）
給 料 280, 000円	当座預金 280,000円

（解 答）

左側（借方）	右側（貸方）
給 料 300,0 00円	所得税預り金 20,000円 当座預金 280,000円

第2回

解答時間：13分

問1、出張中の従業員が帰店し、旅費交通費の精算を行い、現金で残額5,000円の返済を受けた。なお、従業員の出張にあたり、旅費の概算額30,000円を現金で渡した。

左側（借方）		右側（貸方）	
現金	5,000	仮払金	5,000円
円			

左側（借方）		右側（貸方）	
旅費交通費	25,000	仮払金	25,000円
0円			

（解答）

借方		貸方	
現金	5,000円	仮払金	30,000円
旅費交通費	25,000円		

問2、商品100,000円を仕入れ、代金のうち50,000円は約束手形（当店を受取人とする手形）の裏書譲渡による支払いをし、残額については掛けとした。なお、引取運賃1,000円については、現金で支払った。

左側（借方）		右側（貸方）	
仕入	50,000	受取手形	50,000円
円			

左側（借方）		右側（貸方）	
仕入	50,000	買掛金	50,000円
円			

左側（借方）		右側（貸方）	
仕入	1,000	現金	1,000円
0円			

（解答）

借方		貸方	
仕入	101,000円	受取手形	50,000円
		買掛金	50,000円
		現金	1,000円

問3、得意先が倒産し、売掛金50,000円の貸し倒れが生じた。なお、貸倒引当金の残高は20,000円である。

左側（借方）		右側（貸方）	
貸倒引当金	20,000	売掛金	20,000円
円			

左側（借方）		右側（貸方）	
貸倒損失	30,000	売掛金	30,000円
0円			

（解答）

左側（借方）		右側（貸方）	
貸倒引当金	20,000	売掛金	50,000円
0円			
貸倒損失	30,000		
00円			

問4、期首に、備品（取得価額300,000円、耐用年数5年、残存価額：取得価額の10%、

償却方法：定額法、記帳方法：間接法）を150,000円で売却した。

代金は、翌月に決済されることになった。なお、備品の経過年数は、2年である。

左側（借方）		右側（貸方）	
--------	--	--------	--

備品減価償却累計額 000円	108,0	備品	108,000円
-------------------	-------	----	----------

左側（借方）		右側（貸方）	
未収金 000円	150,	備品	150,000円

左側（借方）		右側（貸方）	
固定資産売却損 000円	42,0	備品	42,000円

（解 答）

借 方		貸 方	
備品減価償却累計額 円	108,000		
未収金 000円	150,	備品	300,000円
固定資産売却損 0円	42,00		

問5、得意先から、送金小切手380,000円が送られてきたが、その内容は不明である。

（解 答）

借 方		貸 方	
現 金 000円	380,	仮受金	380,000円

**第3回**

解答時間：13分

問1、買掛金350,000円の決済のため小切手を振出して支払った。なお、当座預金残高は、100,000円であったが、取引銀行と当座借越契約（借越限度額500,000円）を結んでいる。

左側（借方）	右側（貸方）
買掛金 100,000 0円	当座預金 100,000円

左側（借方）	右側（貸方）
買掛金 250,000 0円	当座借越 250,000円

（解 答）

借 方	貸 方
買掛金 350,000 0円	当座預金 100,000円 当座借越 250,000円

問2、商品50,000円を売り上げ、代金として当店発行の商品券30,000円分を引き取り、差額は現金で受け取った。

左側（借方）	右側（貸方）
商品券 30,000 00円	売 上 30,000円

左側（借方）	右側（貸方）
現 金 20,000 0円	売 上 20,000円

（解 答）

借 方	貸 方
商品券 30,000円 現 金 20,000 円	売 上 50,000円

問3、店舗兼住居用の建物の火災保険料200,000円と店主の所得税

87,000円を現金で支払った。ただし、火災保険料のうち30%分は、店主個人住居部分に対してである。

左側（借方）		右側（貸方）	
保険料	140,000円	現金	140,000円

左側（借方）		右側（貸方）	
資本金（又は引出金）	60,000円	現金	60,000円

左側（借方）		右側（貸方）	
資本金（又は引出金）	87,000円	現金	87,000円

（解答）

借方		貸方	
保険料	140,000円	現金	287,000円
資本金（又は引出金）	147,000円		

問4、出張中の従業員から80,000円が当座預金に振り込まれた旨の通知が取引銀行からあったが、その内容は不明のため仮勘定で処理をしていたが、振り込まれた内容は、売掛金の回収額60,000円と新しい注文の手付金20,000円であることが分かった。

左側（借方）		右側（貸方）	
仮受金	60,000円	売掛金	60,000円

左側（借方）		右側（貸方）	
仮受金	20,000円	前受金	20,000円

(解 答)

借 方		貸 方	
円	仮受金 80,000	売掛金 60,000円	前受金 20,000円

問5、得意先から売掛代金として回収した手形200,000円を、  
銀行で割り引き、手取り金198,000円を当座預金とした。

左側 (借方)		右側 (貸方)	
0円	当座預金 198,00	受取手形 198,000円	

左側 (借方)		右側 (貸方)	
	手形売却損 2,000円	受取手形 2,000円	

(解 答)

左側 (借方)		右側 (貸方)	
00円	当座預金 198,0	受取手形 200,000円	
0円	手形売却損 2,00		

第4回

解答時間：13分

問1、営業用建物を購入し、代金5,000,000円は、今月末に支払うこととした。なお、  
印紙税および仲介手数料の代金100,000円のうち30,000円は現金で支払い  
、  
残金は、小切手を振り出して支払った。

左側 (借方)		右側 (貸方)	
	建 物 5,000,000円	未払金 5,000,000円	

左側（借方）	右側（貸方）
建 物 30,000円	現 金 30,000円

左側（借方）	右側（貸方）
建 物 70,000円	当座預金 70,000円

（解 答）

借 方	貸 方
建 物 5,100,000円	未払金 5,000,000円 現 金 30,000円 当座預金 70,000円

問2、得意先から、送金小切手380,000円が送られてきたが、その内容は不明のため仮受金の処理をしていたが、本日その内訳が売掛金の回収が300,000円、残金は、注文を受けた商品200,000円の内金であることが判明した。

左側（借方）	右側（貸方）
仮受金 300,000円	売掛金 300,000円

左側（借方）	右側（貸方）
仮受金 80,000円	前受金 80,000円

（解 答）

借 方	貸 方
仮受金 380,000円	売掛金 300,000円 前受金 80,000円

問3、仕入先やまだ商店にかねて注文していた商品250,000円が届いた。  
代金のうち以前支払った手付金20,000円を差し引いた残金については、

100,000円は売掛金のある得意先を名宛人とする為替手形を振り出して支払い（手形の振り出しに当たっては、得意先の引受けを得ている）、残額については、約束手形を振り出して支払った。

左側（借方）		右側（貸方）	
仕 入	20,000円	前払金	20,000円

左側（借方）		右側（貸方）	
仕 入	100,000円	売掛金	100,000円

左側（借方）		右側（貸方）	
仕 入	130,000円	支払手形	130,000円

（解 答）

借 方		貸 方	
		前払金	20,000円
仕 入	250,000	売掛金	100,000
円		支払手形	130,000
		円	

問4、車両（取得価額300,000円、耐用年数6年、残存価額：取得価額の10%、償却方法：定額法、記帳方法：間接法）を、6月30日に150,000円で売却した。

代金は、翌月に決済されることになった。なお、車両の経過年数は、2年である。減価償却については、月割り計算による。また、会計期間は、1月1日から12月31日である。

左側（借方）		右側（貸方）	
車両減価償却引当金	90,000円	車 両	90,000円

左側（借方）		右側（貸方）	
減価償却費	22,500円	車 両	22,500円

左側（借方）		右側（貸方）	
--------	--	--------	--

未収金	150,000円	車 両	150,000円
-----	----------	-----	----------

左側（借方）		右側（貸方）	
固定資産売却損	37,500円	車 両	37,500円

（解 答）

借 方		貸 方	
車両減価償却引当金	90,000円	車 両	300,000円
減価償却費	22,500円		
未収金	150,000円		
固定資産売却損	37,500円		

問5、売買目的で1株につき100円で1000株を買い入れ、代金は  
 売買手数料2,000円とともに小切手で支払った。なお、当座預金の  
 残高は50,000円あるが、借越限度額300,000円の当座借越  
 契約を結んでいる。

左側（借方）		右側（貸方）	
売買目的有価証券	50,000	当座預金	50,000円

円

左側（借方）		右側（貸方）	
売買目的有価証券	52,000	当座借越	52,000円

円

（解 答）

借 方		貸 方	
売買目的有価証券	102,000円	当座預金	50,000円
		当座借越	52,000円

### 3、良くでる仕訳問題

#### 第1回 出張旅費

出張旅費（概算払い） → 出張中の取引 → 出張旅費の精算

- 1、従業員の出張にあたり、旅費の概算額30,000円を現金で渡した。
- 2、出張中の従業員から80,000円が当座預金に振り込まれた旨の通知が取引銀行からあったが、その内容は不明のため仮勘定で処理をした。その後、振り込まれた内容は、売掛金の回収額60,000円と新しい注文の手付金20,000円であることが分かった。
- 3、出張中の従業員が帰店し、旅費交通費の精算を行い、現金で残額5,000円の返済を受けた。なお、従業員の出張にあたり、旅費の概算額30,000円は現金で渡してあった。

( 解 答 )

1、

借 方	貸 方
仮払金 30,000円	現 金 30,000円

2、

借 方	貸 方
当座預金 80,000円	仮受金 80,000円

借 方	貸 方
仮受金 80,000円	売掛金 60,000円 前受金 20,000円

3、

借 方	貸 方
現 金 5,000円 旅費交通費 25,000円	仮払金 30,000円

## 第2回 仕入と買掛金

- 1、 商品200,000円を注文し、内金として10%（20,000円）を現金で支払った。
- 2、 小切手振出による商品仕入れ 10,000円
- 3、 掛けによる商品仕入れ 75,000円
- 4、 約束手形の振出による商品仕入れ 190,000円
- 5、 商品60,000円を仕入れ、35,000円は小切手を振り出して支払い、残金は掛けとした。
- 6、 売掛金のある得意先を名宛人とする為替手形の振出による商品仕入れ 130,000円
- 7、 手形（当店を受取人とする手形）の裏書譲渡による商品仕入れ 100,000円
- 8、 買掛金71,000円の決済のため小切手を振出して支払った
- 9、 商品230,000円を仕入れ、代金のうち20,000円については、現金で支払い、残額については、売掛金のある得意先を名宛人とする為替手形を振り出して支払った。手形の振り出しに当たっては、得意先の引受けを得ている。
- 10、 商品100,000円を仕入れ、代金のうち50,000円は約束手形（当店を受取人とする手形）の裏書譲渡による支払いをし、残額については掛けとした。
- 11、 買掛金350,000円の決済のため小切手を振出して支払った。なお、当座預金残高は、100,000円であったが、取引銀行と当座借越契約（借越限度額500,000円）を結んでいる。
- 12、 商品を250,000円で仕入れ、代金のうち150,000円は、受け取っていた約束手形を裏書譲渡し、残金は掛けとした。  
なお、引取運賃1,000円については、現金で支払った。

（ 解 答 ）

1、

借 方		貸 方	
前払金	20,000円	現金	20,000円

2、

借 方		貸 方	
仕 入	10,000円	当座預金	10,000円

3、

借 方		貸 方	

仕入 75,000円	買掛金 75,000円
------------	-------------

4、

借方	貸方
仕入 190,000円	支払手形 190,000円

5、

借方	貸方
仕入 60,000円	当座預金 35,000円 買掛金 25,000円

6、

借方	貸方
仕入 130,000円	売掛金 130,000円

7、

借方	貸方
仕入 100,000円	受取手形 100,000円

8、

借方	貸方
買掛金 71,000円	当座預金 71,000円

9、

借方	貸方
仕入 230,000円	現金 20,000円 売掛金 210,000円

10、

借方	貸方
仕入 100,000円	受取手形 50,000円 買掛金 50,000円

11、

---

借 方		貸 方	
買掛金	350,000	当座預金	100,000円
		当座借越	250,000円
円			

12、

借 方		貸 方	
仕入	251,000	受取手形	150,000円
		買掛金	100,000円
		現金	1,000円
円			

### 第3回 売上と売掛金

- 1、当座預金への振込みによる商品売上高 45,000円
- 2、掛けによる商品売上高 110,000円
- 3、手形（当店を受取人とする手形）の受領による商品売上高 250,000円
- 4、商品35,000円を売り上げ、手付金5,000円と相殺し、残額は掛けとした。  
なお、発送費1,000円については、現金で支払った。
- 5、商品50,000円を売り上げ、代金として当店発行の商品券30,000円分を引き取り、差額は現金で受け取った。
- 6、青木商店へ商品350,000円を売り上げ、代金の内5,000円は手付金と相殺し、  
300,000円については、かねて本店が山田商店を受取人、田中商店を名宛人として振り出した為替手形を裏書譲渡され 残額については掛けとした。  
なお、青木商店負担の発送費6,000円については、現金で立替払をした。
- 7、売り上げた商品の一部が返品され、この分の代金8,000円が売掛金と相殺された。
- 8、売掛金25,000円を小切手で回収し、直ちに当座預金に入金した。
- 9、売掛金100,000円を手形で回収して、この手形を銀行で割り引き、  
手取り金98,000円を当座預金とした。
- 10、売掛金5,000円の貸し倒れが生じ貸倒引当金の取崩で処理した
- 11、得意先が倒産し、売掛金50,000円の貸し倒れが生じた。なお、貸倒引当金の残高は20,000円である。

( 解 答 )

1、

借 方		貸 方	
当座預金	45,000円	売 上	45,000円

2、

借 方		貸 方	
売掛金	110,000円	売 上	110,000円

3、

借 方		貸 方	
受取手形	250,000円	売 上	250,000円

4、

借 方		貸 方	
前受金	5,000円	売 上	35,000円
売掛金	30,000円	現 金	1,000円
発送費	1,000円		

5、

借 方		貸 方	
商品券	30,000円	売 上	50,000円
現 金	20,000円		

6、

借 方		貸 方	
前受金	5,000円	売 上	350,000円
受取手形	300,000円	現 金	6,000円
売掛金	45,000円		
立替金	6,000円		

7、

借 方		貸 方	

売 上	8,000円	売掛金	8,000円
-----	--------	-----	--------

8、

借 方		貸 方	
売掛金	25,000円	当座預金	25,000円

9、

借 方		貸 方	
受取手形	100,000円	売掛金	100,000
当座預金	98,000円		
手形売却損	2,000円	受取手形	100,000
			0円

10、

借 方		貸 方	
貸倒引当金	5,000円	売掛金	5,000円

11、

借 方		貸 方	
貸倒引当金	20,000円	売掛金	50,000
貸倒損失	30,000		
円			円